

防鳥管理

(防鳥ネット施工)

鳥類による主な害は、“フンや羽”による汚染ですが、ハトは、ウィルスや寄生虫による様々な病気を引き起こす要因ともなり得ます。食品工場おける、防鳥管理は衛生管理上、不可欠です。また、鳥類の巣は、ダニや貯穀害虫の生息源にもなります。

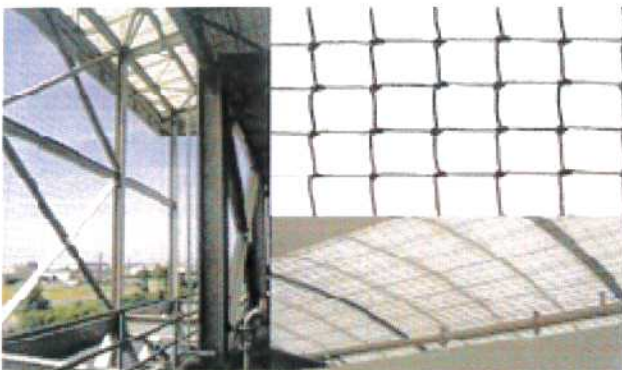
ハトを含む防鳥管理(バードコントロール)において、最も留意しなければならないのは、その現場の被害状況に応じた対策をたてることです。鳥の執着心を見極めることがポイントになります。



【鳥類の執着心が強くなる場所】

- 建屋の構造が複雑で、天敵などから身を隠しやすい。
- 餌の供給源がある。
- 水飲み場が付近にある。
- 日光があたり、暖かい。
- 周辺に他の群れがいる。

防鳥アイテム



防鳥ネット



スパイク

忌避剤



H網などハトが停まりやすい場所へ設置

防鳥が困難な理由には、鳥の持つ学習能力のほか、鳥獣保護法が挙げられます。鳥獣保護法下では、環境大臣又は都道府県知事の許可を得るか、狩猟者登録を受けて行う場合以外は、鳥獣の捕獲は原則として禁止されています。そのため、防鳥対策は、物理的な侵入防止および忌避となります。

Iwatani

国際衛生株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4丁目14番7号

TEL : 03-3667-6711 (代表) FAX : 03-3667-6822